



我が国有数のラジウム温泉として知られる鳥取県の三朝温泉は、高濃度のラドンを含む放射能泉で、屋外で観測されるラドン濃度は 26 ベクレル/m³と周辺地域の 11 ベクレル/m³と比べかなりの高濃度である。岡山大学の御船政明教授は三朝温泉住民の癌死亡率を 37 年間にわたり調べた。その結果、全国平均を 1 とした三朝温泉住民の癌死亡率は男性、女性それぞれ、0.54、0.48 となり、周辺地域住民の癌死亡率の男性 0.85、女性 0.77 に比べ低い数値となった。また、肺癌の死亡率については男性、女性それぞれ 0.48、0.19 となり、周辺地域の男性 0.93、女性 0.37 と比べ極めて低い結果となった。